

展示

入賞作品は、北播磨管内の施設やイベント、北播磨県民局ホームページで展示するほか、「ふるさと北播磨の宝もの」として冊子に掲載します。



天の川がかかる岩座神の棚田の空です。そこには人々の静かな暮らしがあり、日本の原風景となっています。

▼北播磨で、いや日本でこんな風景が見ることができるとは、また、手前から奥行きまでこれほどシャープに撮れるとは、いやはや驚きました。郷土の観光のポスターを見ているような気持ちになります。

▼天の川が流れる棚田の星座だけでなく見事ですが、街灯に浮かぶ集落や田舎の田舎の空が広がった様子などもよく、美しい景観を誇る岩座神の魅力を余すことなく伝えてくわたり、計算された構図と適正な露出から高い撮影技術を感じさせます。

(廣岡審査員)



昨年度の入賞者掲載中



『ハートにぐっと北播磨』

審査員全体評

廣岡審査員

最近、中・高生たちも、スマホを使っていとも簡単に写真を撮り、交換し合っています。あるいはインスタ映えと称して投稿を競い合ったりしています。それに、高校には写真部があるところも。ということで、第7回からは「中・高生部門」を設けました。ただ、学校生活の忙しさ等も考え、WEBでの受付としました。結果的に、一般を上回る185名251作品の応募があり、中には、一般の部の手練れの作品に匹敵するものや、いかにも中・高生らしい作品もありました。ご覧いただければ、一般の部の皆様にも、いい刺激になるのでは、と願っています。

さて、一般の部では、お馴染みの場所、風景が減少し、新たな場所や切り口が増えてきたように思います。そんな中で、最優秀賞や優秀賞など、構図やレイアウトが大きな魅力となりました。

中・高生部門は、身近なモチーフの作品から、ある場所、時間を狙った労力を要する作品まで、多彩な応募がありました。一般の部を見慣れた私には新鮮で、また今まで対象とされなかったような新しい発見が多くありました。一般の部の皆様が、どう評価されるのか、お伺いしたいものです。

岡本審査員

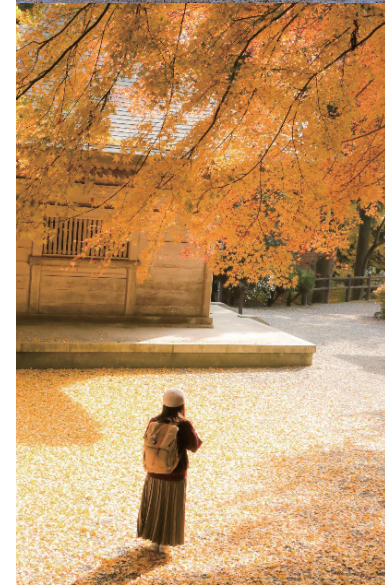
新型コロナウイルスが少なからずみなさんの暮らしに大きな影響を与えた1年となりました。そんな中でも、ひたむきに作品作りに励み当コンテストに多くの応募を頂き感謝しております。

祭事やイベントの中止、縮小が相次いだこともあり、例年とは違った視点での応募作が目立ったように思います。定番の場所でも、季節や時間帯を変えて足を運ぶことで、こんな風に見えるのかと気づかされる作品もありました。こういう時だからこそ、地域の足元を見つめなおし、新たな魅力を発掘してみようという気概も感じられたように思います。

今回から始まった中・高生部門にも新鮮な発見がありました。登下校や学校生活の中で、心に響く風景を素直に表現した作品には、この地で暮らした感受性の豊かさを感じ取ることができます。何よりも、とっておきの場所をそれぞれが持ってあり、自分たちの住む北播磨に誇りを持っていることが伝わってきました。

コンテストは撮影技術も含めて競い合いますが、1枚の写真に思いを乗せて伝えることのできる貴重な機会でもあります。どんどんシャッターを押して、みなさんのふるさとの魅力を教えて下さい。

03北播P2-002A4



第8回 残しておきたい “ふるさと北播磨” 写真コンテスト 【作品募集】

【応募テーマ】

北播磨

西脇市・三木市・小野市・
加西市・加東市・多可町の

「残しておきたい“ふるさと”の今」

入賞者
には

図書カード
プレゼント



応募期間

令和3年5月10日(月)～令和3年12月3日(金)まで

問い合わせ先

〒673-1431 加東市社字西柿1075-2

兵庫県北播磨県民局県民交流室県民・商工観光課

「残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト」係

TEL (0795) 42-9350 FAX (0795) 42-7535

主催：北播磨県民局 後援：神戸新聞社

一般部門 (プリントアウトのみ受付)



【応募資格】

どなたでもご応募いただけます。(応募点数は一人5点まで)

【応募条件】

(1) 作品は、令和2年12月1日から令和3年11月30日までに撮影した作品で、未発表のものに限ります。

令和3年12月3日(金)までに表紙に記載している住所まで郵送または持参してください。

(2) 写真サイズ

四つ切(254mm×305mm) 四つ切ワイド(254mm×365mm)

(3) 応募方法

所定の応募票に下記必要事項を記入し、作品の裏面にテープで貼付して(のりづけはしないでください)

応募期間内に提出して下さい。

【必要事項について】

・作品の題名 ・撮影場所(または行事名) ・撮影年月日

・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号

・コメント(残しておきたいと感じた場面や撮影場所の紹介など)

出来るだけ簡潔にお書きください。100字以内であれば、文字数不問。

※被写体が人物の場合、ご応募に際しては、必ずご本人(被写体)の承諾をいただいで

ください。また、被写体が未成年の場合は、親権者の承諾が必要です。

応募作品は返却しません。

入賞された場合は、フィルムの原版、またはデジタルデータ等を指定日までに提出してください。これらの提出

がない場合は、入賞を取り消します。

【賞】

・最優秀賞 1点(3万円分の図書カード) ・優秀賞 3点(1万円分の図書カード)

・特別賞 10点(5千円分の図書カード) ・佳作 10点(5千円分の図書カード)



中・高生部門 (webのみ受付)



【応募資格】

中学生及び高校生のみ申込みできます。(応募点数は一人5点まで)

プリントアウトした写真を応募される際は、一般部門から応募してください。

【応募条件】

(1) 作品は、令和2年12月1日から令和3年11月30日までに撮影した作品で、未発表のものに限ります。作品のデータを、令和3年12月3日(金)までに応募専用webページに提出してください。

(2) 応募方法

応募専用webページにアクセスし、下記必要事項を入力の上画像ファイルをアップロードしてください。

※画像ファイルは、1ファイルあたり10MBまで

【必要事項について】

・作品の題名 ・撮影場所(または行事名) ・撮影年月日

・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・学校名

・コメント(残しておきたいと感じた場面や撮影場所の紹介など)

出来るだけ簡潔にお書きください。100字以内であれば、文字数不問。

※被写体が人物の場合、ご応募に際しては、必ずご本人(被写体)の承諾をいただいでください。

また、被写体が未成年の場合は、親権者の承諾が必要です。

【賞】

・最優秀賞 1点(1万円分の図書カード) ・優秀賞 3点(5千円分の図書カード)

・佳作 10点(2千円分の図書カード)



お申込みは
こちら▶



応募要項



【応募テーマ】

北播磨(西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町)の「残しておきたい“ふるさと”の今」をテーマとした写真で、“ふるさと北播磨”の良いところを内外に発信できる写真をコメント付きでご応募ください。

<撮影対象例> ・人物・歴史・史跡・伝統芸能・祭り・自然・風景

・北播磨で生活する人々の日常

・ありふれた中にもふるさとを感じる景色

・時代を経て今なお当時の面影を残す建物や景観

・地場産業や、そこで働き生活する人々の姿など



【応募締め切り】

令和3年12月3日(金)

【応募規定】

カラー・モノクロは問いませんが、単写真のみとします。(組写真、合成写真は不可) デジタルで意図的に画像処理・加工・改変されたものは不可。

応募作品で被写体が人物の場合、ご応募に際しては、必ずご本人(被写体)の承諾をいただいでください。

また、被写体が未成年の場合は、親権者の承諾が必要です。第三者から権利侵害等の苦情、異議があった場合、主催者は一切の責任を負わず、応募者がすべて対処するものとします。使用承諾を得ていない場合は、審査対象外となります。

【応募上の注意点】

応募作品の著作権は撮影者に帰属します。

入賞作品の使用権は主催者に帰属し、“ふるさと北播磨”の魅力発信のため、県のホームページや広報誌といった県の広報媒体等に利用する権利を永久に有するものとします。(県が適当と認める団体等においても使用することがあります。)

入賞作品については、題名、撮影場所(または行事名)、撮影日時、コメント(紹介文)及び氏名・居住地(市町名まで)を公表し、作品を報道機関に提供する場合があります。また、作品・コメント(紹介文)については、ホームページや作品集、パンフレット等に掲載する際に、スペースの関係上、主催者の方で一部修正する場合がありますのであらかじめご了承ください。

【個人情報の取扱いについて】

応募票に記入のあった個人情報は、主催者で管理し、当コンテスト以外の目的には使用いたしません。

【審査】

主催者が委嘱した委員で構成する審査委員会において審査を実施します。

写真の芸術性や技術よりも、“ふるさと北播磨”としての良さが伝わることを重視します。

【審査結果発表】

・審査会終了後、受賞者本人に通知するとともに、兵庫県北播磨県民局ホームページ等で発表します。

・表彰式：令和4年2月頃に表彰式を行います。(予定)

受賞者本人には別途お知らせします。

